平成29年度の検討テーマ(案)について

本協議会では、いじめをはじめ、本県の子ども達を取り巻く様々な課題について検討する。

平成28年度協議内容

教育大綱と取組の現状

検討必要事項

- ○いじめの未然防止につながる地域 での見守りの取組について提起
- ○地域と学校それぞれが主体となっ た連携・協働の推進
- ○いじめの未然防止につながる地域 全体での見守りのモデル
- ○民生委員・児童委員・支援員・地 域の方への研修
- ○地域と共につくる評価項目
- ○チームとしての個人情報が守られ た見守り体制の在り方

地域との連携・協働

地域全体で子どもを見守る体 制づくり

- ・安心安全な居場所の確保
- ・地域や福祉関係機関との連携・ 協働による見守り体制づくりの 推進

地域全体での子どもの見守りについて(継続テーマ)

◆子どもが地域に温かく見守られて いると感じるには、学校を含めた地 域全体で地域づくりや見守り体制 の構築が必要である。

◆子どもが地域に温 かく見守られている と感じることができ るような学校を含む 地域づくり、見守り 体制の構築につい

○ネット問題に対する大人の積極的な 取組

- ○ネット問題への取組状況(児童会生 徒会交流集会、 PTA教育行政研修
- ○他県の取組の状況
- ○学校と保護者との連携について
- ○高知県のネット使用状況調査
- ○保護者への通知の必要性について
- ○保護者責務の周知と啓発方法・内 容・場所について

厳しい環境にある 子どもたちへの支援

ネット問題に対する県民運動 の推進

- ・インターネットの適正利用 に向けた主体的取組の促進
- ・インターネットの適正利用 に向けたルールづくり

ネット問題について(継続テーマ)

- ◆ネット問題への取組を県民運動 に広げるためには子ども・学校・ 保護者・地域が、それぞれの立 場でネット問題に関心を持てる ような取組が必要である。
- ◆ネット利用の仕方について主体 的に取り組むための方策が必要 である。
- ◆子ども・学校・保護 者・地域が、それぞ れの立場でネット問 題に関心を持ち、 正しいネット利用に ついて主体的に取 り組むための方策 について

○高知県青少年保護育成条例改正

○心の教育センターの業務内容・位置付 け・ゴールイメージ(機関連携強化・ 求められている役割)

- ○様々な年齢に対応した、トータルなサ ポート体制の確立
- ○心の教育センターと学校との支援体制
- ○実効性のある校内支援体制の確立・運 用と心の教育センターの周知方法 〇失敗事例の収集と分析、リスクの予測
- 可能性の向上について
- ○スクールカウンセラー、 シャルワーカーの処遇改善と人材確保

厳しい環境にある 子どもたちへの支援

専門人材・専門機関との連携強化

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャ ルワーカーの配置拡充による相談体制及び 多様な支援の充実
- ・心の教育センターのワンストップ&トータ ルな支援強化に向けたワンストップ機能の 向上と関係機関との連携
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャ ルワーカーの支援力の向上

相談支援体制について(継続テーマ)

- ◆子どもが気軽に相談でき、安心 して過ごすことができる環境を 整えるためには、学校と心の教 育センターが連携して実効性の ある相談支援体制を整える必 要がある。
- ◆子どもが気軽に相 談でき、安心して 過ごすことができ るための実効性の ある相談支援体制 の在り方について

相 談 支援体 制

見守り

Ò

ネ

問